現代企業論Ⅰ

科目ナンバリング　MAN-203
選択必修　　2単位

江本　伸哉

1. 授業の概要（ねらい）

❶この授業は、春期（現代企業論Ⅰ）と秋期（同Ⅱ）を結合して通年（ⅠとⅡ）で完結するように設計されています。このため、通年受講を強くお勧めします。ただし、学生の皆さんの都合により春期（Ⅰ）のみ、あるいは、秋期（Ⅱ）のみの受講も可とします。
❷企業の真の主役は、法人格をもつ企業そのものではなく、あくまでその企業を指揮する生身の経営者です。この授業は、私の日本経済新聞記者時代の大先輩である永野健二氏の近著『経営者　日本経済生き残りをかけた闘い』（新潮社）を題材に、まず波乱万丈の戦後日本経済を闘い抜き、わが国を代表する企業を育て上げた経営者の生き方と戦略を紹介します。その後、その企業が属する業界が現在抱える課題、その対策などを浮き彫りにします。これによって現代日本企業のリアルな実態を皮膚感覚で理解し、他の人に説明する力を養い、就活の参考にしてもらうのが狙いです。
❸3回に1回、授業内容を簡単に振り返る復習問題や、皆さんの疑問、感想・意見、要望・提案を書いてもらう「ミニッツペーパー（MP）課題」を出します。復習問題の正解と私なりの回答を「MP通信」にまとめ、次の授業で配ります。皆さんの理解度を確かめ、疑問に答えながら、双方向で授業を進めていきたいと思います。

2. 授業の到達目標

❶教科書1冊を1年かけて深く読み通す根気を身につける。
❷戦後から現代に至るまでの日本の有力企業についての基礎知識を身につけ、他の人に説明できるようになる。
❸現代の日本企業が直面する課題を知り、その解決策を考える力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

❶対面なら出席回数が3分の2（原則として10回）未満、オンラインならMP5回と期末レポートの合計6回の提出物のうち、提出が4回未満の場合は、（たとえ期末レポートを提出しても）単位を与えません。D2（再試験不可）とします。
❷MP点が60点満点（MP1枚12点×5回＝60点満点、公欠を届け出た場合は半分の1枚6点満点）。
❸期末レポートが40点満点。
❹授業中の積極的な発言、MPでの鋭い質問、なるほどという感想・意見、建設的な要望・授業改善提案には、その都度、❷❸とは別に特別加算（5～20点）します。

4. 教科書・参考文献

教科書
永野健二　経営者　日本経済生き残りをかけた闘い　新潮社
参考文献
永野健二　バブル　日本迷走の原点　新潮社
日本経済新聞社　日経業界地図2021年版　日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

❶授業開始前に必ず教科書を手に入れ、通読してください。分からないことがあっても構わず、最後まで読み通してください。教科書を持っていないと解答できない問題を期末レポートで出題しますので、教科書は必携です。
❷授業の前に教科書のその日の当該箇所をもう一度じっくり読んでください。質問があったら、授業中に聞くか、「MP課題」に書いて出してください。
❸企業は生き物であり、変わっていきます。そのリアルな動きをつかむために、『日本経済新聞』（紙の新聞でも、電子版でも構いません）を毎日読む習慣をつけましょう。図書館、キャリアサポートセンターでも無料で読めます。

6. その他履修上の注意事項

❶対面なら出席が3分の2（原則10回）未満、オンラインなら提出物が6回中4回未満の場合は、D2（再試験なし）とし、単位を与えません。
❷公欠の場合は1か月以内に届けを出してください。MP点を半分（対面なら2点満点、オンラインなら6点満点）を与えます。
❸対面の場合、私語、スマホ操作、食事は禁止。注意しても改めない場合は退場してもらいます。
❹学生の皆さんの集中力を維持するため、途中に5分間の休憩を取ります。休憩中は私語、スマホ操作、トイレ、ストレッチ体操など自由です。また、休憩用に皆さんのリクエスト曲や私の好みの曲など音楽を流します。
❺第1回（4/14）と第4回（5/5）はLMSを使ったオンデマンド授業※です。それ以外はコロナの状況次第で対面かオンデマンドになります。ご注意ください！

7. 授業内容

【第1回】　4/14＝オンデマンド授業※
ガイダンス（江本自己紹介、授業の進め方、約束事）
教科書「序」日本を支えた「渋沢資本主義」（P7～15）

【第2回】　4/21
教科書2 二度引退した"財界鞍馬天狗"中山素平（P36～47）解説

【第3回】　4/28
教科書2→金融業界の現状と課題

【第4回】　5/5＝オンデマンド授業※
教科書3 永野重雄の決断――新日鉄誕生は是か非か（P48～61）解説

【第5回】　5/12
教科書3→鉄鋼業界の現状と課題

【第6回】　5/19
教科書4 トヨタが日本一になった日――豊田英二の時代（P62～72）解説

【第7回】　5/26
教科書4→自動車業界の現状と課題

【第8回】　6/2
教科書5 中内功――流通革命と『わが安売り哲学』（P74～86）解説

【第9回】　6/9
教科書5→総合スーパー（GMS）など流通業界の現状と課題

【第10回】　6/16
教科書6 伊藤雅敏と鈴木敏文、今生の別れ（P87～103）解説

【第11回】　6/23
教科書6→コンビニ業界の現状と課題
＝春期 期末末レポート課題出題

【第12回】　6/30
教科書7 藤田田、「青の時代」のトリックスター（P104～116）解説

【第13回】　7/7
教科書7→外食業界の現状と課題

【第14回】　7/14
教科書8 "プラグマティスト"小倉昌男の企業家精神（P117～133）解説

【第15回】　7/21
教科書8宅配・物流業界の現状と課題
＝春期 期末レポート提出締切